



特別賞

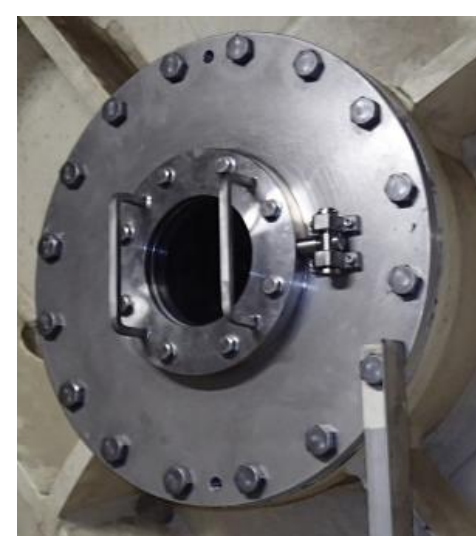
For Earth, For Life
Kubota



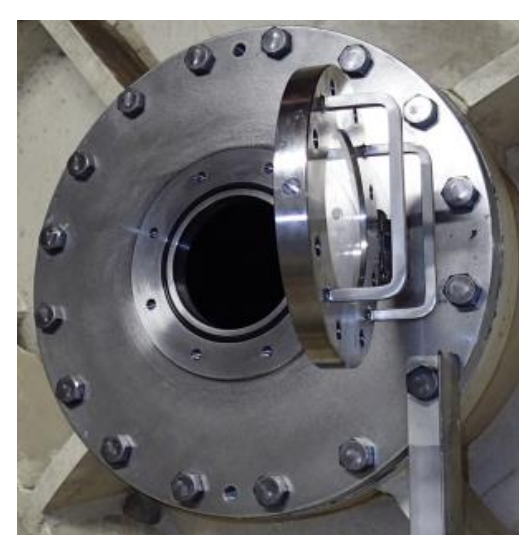
「GENSO」

スマートな点検作業を実現

閉状態



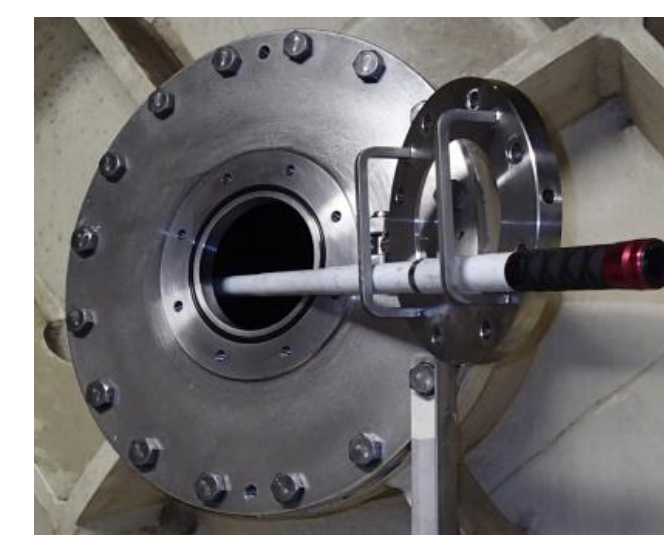
開状態
(回転無)



開状態
(回転有)



点検中



河川・ダム・
砂防・海岸分野

ポンプの長寿命化に向けた整備、更新計画を立案 点検用窓「GENSO」を用いたポンプ診断技術

取組概要

ポンプにカメラ診断専用窓「GENSO」を取り付けて内視鏡カメラ診断を行う事で、①ポンプ内部状況確認にかかる費用の低減、②ポンプ設備のLCC（ライフサイクルコスト）低減を実現。

受賞理由

ポンプ内部状況を可視化させるポンプ内視鏡カメラ診断技術は、ポンプに取り付けた専用窓から工業用内視鏡カメラを挿入することで、従来、内部部品の劣化診断時に必要であったポンプ引き上げ作業を不要としたもので、これにより約1,500万円程度の点検経費の削減が見込める。また部品交換作業においても、内部部品の状況が事前に確認できることから、交換の必要のない部品を予め把握することで整備費用の低減も期待できる。

さらに、内視鏡カメラ映像により内部部品毎の劣化状況を高い精度で把握できることから効率的な更新計画の立案が可能となるなど、大型ポンプの長寿命化と管理の精度向上への貢献が評価された。

取組のポイント

工業用カメラを用いてポンプ内部を可視化。従来点検と併用する事で部品毎の劣化診断が可能になりました。

ポンプへ専用窓を取り付けるだけでポンプ引き上げ作業の無い内部状況の確認が可能となりました。従来、ポンプ内部確認には引き上げや分解作業が必要で約1,000～2,000万円（φ1000以上の立軸斜流ポンプ例）の費用が掛かっていましたが、本診断は約80万円でポンプ内部状況の確認が可能です。

ポンプ内部状況を診断する事で、必要のない整備部品や更新費用の低減（LCC低減）が可能となり、適切なタイミングで予算化計画を立案できます。

受賞者について



受賞者

クボタ機工株式会社 枚方本社
事業推進企画部
橋詰 和哉

コメント

この度は大変名誉な賞を賜り、メンテナンス事業を続けてきた弊社として大変光栄に存じます。近年の課題であります設備の老朽化、財政難の解決に向け日々検討を重ねた結果がお役に立てばと思います。様々なご支援を頂きました多くの関係者の皆様、本業績を審査いただきました皆様に御礼申し上げます。

団体概要

クボタグループのポンプ施設等メンテナンスを行う会社として1986年に設立。ポンプ関連に特化した企業として、修繕や点検にて培ってきたノウハウを元に老朽化した施設に適切な点検・診断を行い、最適な長寿命化対策を提案致します。

問い合わせ先

クボタ機工株式会社 枚方本社
事業推進企画部
橋詰 和哉
072-840-1168/
kazuya.hashizume@kubota.com